



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 森山信三
カトリック福岡教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

3月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】女性の尊重
【宣教】召命
【日本の教会】つながって生きる

司教、司祭団の交わりを見つめて
2013年度第5回司祭評議会開催

2月4日、第5回司祭評議会が開催された。まずはじめに、1月27日、28日に行われた司祭総会では、山下正師の事件について、全司祭で司祭団相互の関わり、また司教との関わりについて討議されたが、それを受けて、改めて評議員でも意見交換がなされた。まず、山下師自身については、心身のケアが不可欠であること、今後も司祭団でバックアップしていくことが確認された。また司祭相互の関わりについては、教区司祭には、修道会のようなコミニ

ティーがなく、通常一人で生活しているために司祭が孤立する場合がある。あるいは、何らかの病気を発症した場合、司祭団の交わりが疎遠になるケースもある。それを回避するために、定期的な集まりも大切にしながら、話し合いのためではなく、祈りだけのために、あるいは食事のためだけに、スポーツのために、等々で色々と機会を作って集まることを大切にしていこうなどの意見が出された。結論が出ることはなかったが、司祭相互の交わりを深める何らかの手立てを今後も模索していくことが確認された。

司教と司祭の関わりについては、まず大切なことは信頼関係であり、信頼があれば、司教の方針と司祭団の行動が合致し、その協働が実現するはずである。まずは、司教と司祭の個人面談を通して、人間関係を構築していくことが大

第38回カトリック正義と平和全国集会
福岡大会のご案内とご協力をお願いします



主の平和
皆様におかれましては、お元気に福音宣教に励んでおられることと思います。

さて、来る9月13日（土）から15日（月）に福岡教区主催による「カトリック正義と平和全国集会・福岡大会」をカテドラル大名町教会を中心

に開催いたします。そのご案内を申し上げ、ご理解とご協力をお願い申し上げます。次第です。「カトリック正義と平和全国集会」は、すでに38回目を迎えますが、福岡教区での開催は初めての事です。全国集会を開催するにあたり、昨年6月より正義と平和協議会の関係者や教区信徒協の皆様にご協力をお願いし、中村彰神父様を中心に実行委員会を立ち上げました。半年の準備によって、ようやく皆さまにご案内ができる運びとなりました。

切。そのために、黙想会など司祭が集まっている時に、あるいは日常においても、司教と話せる時間を設けてほしいという意見があった。各々の小教区においてもそれぞれ問題を抱えている場合があるが、当事者である司祭に、まずその件について面会して話を聞いて欲しい、また、地区司祭集会にも、テーマによつては司教も参加した方がよい、司教も司教としてではなく、同じ司祭という姿勢で参加してほしいという意見などが出された。次に、6月開催予定の司祭研修会については、フランススコ教皇の回勅「福音の喜び」をもとに教皇の指針を学び、社会問題について光を当てることが提案された。研修会の進め方については、復活祭頃出版予定の「福音の喜び」の邦訳を待つて、各地区に内容を分担し、読み進め、研修会までの内容を深

めること、分担については司教に一任することとした。また、研修会の具体的準備を生活化委員会が担当することとなった。また、来年度の教区年間テーマについて、司祭総会の時に提示された司教案について、これからの設計図、青写真として、それを具体的にどう策を練るか、具体的に推進していく委員会、担当者提案して欲しいという司教の説明を受けて意見交換を行った。その結果、まずは、一年かけて、地区や小教区として現状を把握し、そこから課題を分析することとしてはどうかということになった。テーマ文言として、「信仰に生きる・現状の把握から福音宣教を目指して」が良いのではという提案がなされた。また、年間テーマについては司教メッセージは、福音に基づいた、信者の心を温める黙想のようなものが望ま

テーマは「いのちを大切に
する社会を目指してー見て、聞いて、知って、働くー」と決まり、それに基づいた基調講演、分科会、現地学習などを予定しています。詳細に関しては、今後、福岡教区報や、実行委員会報告などを通してお知らせしたいと思います。

「正義と平和」への取り組みは、福岡教区にとっても大きな福音的な任務だと受けとめています。フランススコ教皇様も「貧しい人々を大事にする教会でないと、これからの教会の発展、展望はない」と言われ、自ら先頭に立つて貧しい人、小さくされた人々を大事にしておられます。福岡

教区の私たちも教皇様の模範と勧めに従い、3日間の全国集会を迎えたいと思います。全国集会には、各地からたくさんの方々が集まると思いますが、一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。当日ご参加いただけますならば、大きな励みになりますので、よろしく願いいたします。皆様とともに素晴らしい全国集会を開催し、それをもとに福岡教区での正義と平和を推進していきたいと思いま

す。

神様の祝福が皆さまの上に豊かにありますように
カトリック福岡教区・教区長
ドミニコ宮原良治司教

キリストのことばをすべての人へ
パウロ家族創立100周年記念講演会



ことである。講師の澤田豊成神父（聖パウロ会）は、「キリストのことばをすべての人へ」と題して講演し、「イエスの弟子たちは、イエスの業を受け継ぐべく召されたのに、皆、受難の時には、イエスから離れてしまった。しかし、聖霊降臨後、彼らの中で何かが変わった。同様にパウロもかつてはキリスト教徒の迫害者であったが、キリストとの出会いによって変えられた。（福音宣教を）「強いられるなら、それは、委ねられている務めなのです。」（1コリント9・17）「生きていくのはもはや私ではなく、キリストが私の内に生きておられるのです」（ガラテヤ2・20）というパウロの言葉に見られるように、復活のキリストは彼の内面、心の内側から

は自分がどうしてそんなことをしてしまったのか分からず、急に腹が立つてきて、泣き出してしまいました。神の似姿として創造された私たちは、無条件に愛し合うことでより人間らしく生きることが出来ます。神の恵みは弱い立場の人々により多く注がれ、彼らの中にはキリストがおられます。彼らとの出会いは、神に近づく絶好の機会なのです。お互いの違いをそのまま認め、受け入れ、弱さを補い合って、共に「人間らしい」生き方ができるように努めましよう。

先日散髪をすませ、髪を洗ってもらっていたところ、彼が尋ねた「かゆいところは大丈夫ですか」私は答えた。「はい大丈夫です。」この会話の後、いつぞやの新聞記事を読み出した。題して「乱発される『大丈夫』の研究」。この会話は正しくは「かゆいところはありませんか」「はい、ありません」であろう。その「研究」によると、このような使われ方は、現在頻繁にあり、それは日本人独特の「婉曲的な断り」だったり「配慮言葉」あるいは「断定回避の法則から生まれた用法」などと分析している。もし、相手に対する迷惑や負担が想定される時に、「お気遣いいただかなくとも結構です」の意味を込めて「大丈夫」が使われるという。確かに日本人は、直接に自分の気持ちを伝えずに婉曲な表現を使うことは多い。それは、日本人の謙虚さや相手に対する配慮の表れと取れば美徳になるが、自分の意志を明確に伝えないという風にと取られれば、決して美徳ではなからう。H神父の絵本に「あぶらばぶ」という本があって、子どもたちにそれを読み聞かせると大いに受けるのである。イエス様がいつているから「大丈夫」、心配しないでいいですよ、というが、それがかなり変化して使われている。キリスト者である私たちは、この本来の意味すなわち「神さまと一緒にいて下さるので、心配ないですよ」の意味を込めて周りの人々に平安をもたらす言葉として大事にしたいと思う。



見て、聞いて、知って、
降りて来てくださる神に倣おう



聖公会・バプテスト教会・調理機器の会社などから献品される。また、浄土真宗寺院の婦人会手作りの弁当も供される。

夜回りにはカトリックの信徒だけでなく、プロテスタント信徒・仏教徒・社会福祉士・学生などが集まり、準備された食糧と防寒着や毛布などを携え、12コースに分かれて出発する。

現在スーパの会では、140名前後のホームレスに支援を行っている。リーマンショックの年、600名を数えた頃に比すれば激減しているとも言えるが、生活保護の引き締めなどによる今後の変化が懸念される。

また、この数年、20代から40代の若年層・女性の増加精神疾患や家庭の問題で路上に出たなど、複雑な背景を持つケースが認められるようになった。自己責任論に縛られ、声をかけてもうつむいたまま通り過ぎる彼らに、どのような人気がいるのか。

午後、福岡女性の会のメンバーを中心に豚汁とゆでたまごが準備される。生姜がきいた豚汁はリクエストが入るほどの人気らしい。おにぎりは、

カテキズムを学ぶ⑥
創造の意味

稲垣良典

「創造」とか「創造する」という言葉は私たちの間でよく使われる言葉ですが、神は天地を「創造」された、と言われる時の「創造」の意味はどのように理解したらよいのでしょうか。まず第1に、神について私たちが何事かを知るのには、私たちにとって身近な結果から原因へという方向をとります。それで創造という神の業、働きの場合も、私たちの最初の知識は、この働きの結果、つまり被造物の考察から得られるものです。こ

に手を差し伸べるのがこれからの課題のひとつである。ともあれ、小教区・宗旨などの垣根を越え、困窮者に寄り添うというひとつの理念の

72回目を迎えた熊本諸宗教対話研究会

小笠原玄也 一家殉教地の禅定寺を訪問



私たちは近所のお寺、そこに生きる人々のことをどれだけ知っているだろうか。門をくぐると、気さくで話好きなお坊さんに出会うことが多い。地元の人たちと深く関わった暮らしぶりに触れることが出来るし、思いがけない歴史探索が始まることもある。

2月2日、熊本諸宗教対話研究会は72回目の例会で、熊

う創造の特徴であると考えられる「時間の始まり」とか「無から」という要素はここでは何も理解されていません。次に神の働きとしての創造について考える段階に入りますが、ここ

からは人間の理性は神の啓示に導かれながら探索を進めます。被造物という結果は、原因である神が存在することは示しますが、何であるかを示すことはありません。神の働きの完全さを知るには不十分だからです。理性だけで神的存在の根拠を完全に持つていくようなものは何もないのです。言いかえると、私たちが理性によって創造について知り得るのは、このような全面的、絶対的な依存の関係だけです。裏から言えば、ふつ

もと共に働くことは、教皇フランシスコの「教会の外へ」という言葉を実践していると言えるよう。より多くの方々の協力が求められている。

本市の禅定寺を訪ねた。小笠原玄也・みや一家15名の殉教の地である。処刑が行われた寺の門前にはステンドグラス製の燈明が立ち、夜には灯されるという。キリシタン罪人の処刑場になぜ禅寺が選ばれたのか、たとえ門前で行われたとしても、処刑を終えた者はもう罪人ではない、「ほとけ」として境内に葬られているのではないか。15名の全遺体を花岡山に運ぶのは難しい。少なくとも一部は境内に残っているのではないか。想像は

最勝林佑信住職は、お茶菓子準備して迎えてくれた。禅定寺には加藤清正の重臣10名の中5名が埋葬されており、加藤と刃を交えた小西行長一族の墓もあるという。それも

実は「無から」というのは、創造を理性的に説明する言葉ではなく、創造を有限な世界のなかで経験されるすべての働きや変化から切り離す「否定」なのです。神の働きである「無からの創造」について、信仰に導かれながら、人間理性の能力の限りを尽して探索するのは哲学の重要な課題なのです。その次の段階はおそらく私たちが創造について一番知りたい「なぜ」に関わるものです。しかし存在するものすべての第一原因であり、究極目的である神を超えるような原因や目的はあり得ないので、「なぜ」という問いに答えるものとしては神自身、神の本質以外のものはありません。そして神が自らの本質

行長本人の墓で、歴代の住職の口伝でそう伝えてきたと住職は言い切る。目立たない自然石のその墓は、秘かにお参りされてきたのだという。行長の居城宇土城の西門を寺の門として使い、かつては行長寄贈の鐘もあつたらしい。先の大戦で供出するまで、良い音色を響かせていたというから驚きである。時の権力に媚びない、この寺の懐の深さに感じ入る。「なぜ」がそうさせたのではないかと住職は言う。都市計画で道路が境内を通ることになっていったが、歴史的価値を力説してようやく変更になったという。

第1回福岡家族支援実行委員会開催
福岡の方々の苦難に寄り添って

2月2日、カテドラルにて第1回福岡家族支援実行委員会(担当司祭 松井忠之神父)が開催され、各教会から信徒有志が集った。福岡女性の会は、昨年福岡県内の家族のために、放射能の心配から解放され、子どもたちとともにのびのびと過ごしていただく4

を最も親密に教えて下さったのが三位一体という信仰の神秘ですから、創造の「なぜ」を理解する唯一の鍵はこの信仰のうちにあります。話が難しくなつたと感じる方があってもいいかもしれません。しかし、三位一体なる神を信じることは、御自身の永遠の生命、知恵と愛の交わりのなかに私たちを招き入れて下さる恵み深い神を信じることで、神は自らの最善のものを惜しみなく分かち与える愛であり、善そのものであるという真理を味わうことです。その意味で私は「神は善であるがゆえに、われわれは存在する」というアウグスティヌスの簡潔な言葉のうちに創造の意味を探る鍵があると思います。

「禅定寺はカトリック信者にとっても大切な場所、聖なる墓地である。400年前、すでにここでカトリックと禅宗との宗教対話があつた」と出席者の一人が思いを述べた。「どの宗教も宝物を持ち、それを分かち合いたいと思つてい



旨に賛同し、協力して下さる方を募集している。また、この企画の資金集めとして、「博多にきんしゃい!」2チャリティー・コンサート、3・15 福岡と祈る」と題して、3月15日(土)、カトリック大名町教会聖堂において(13時開演)チャリティー・コンサートが予定されている。コンサートは、手作り感あふれるもので、福岡市内の小教区聖歌隊、あるいは学校、幼稚園の生徒や保護者による歌や演奏が予定されている。今後、実行委員のメンバーは、ワインを販売したり、各小教区を回つてこの計画の協力要請や、募金協力のために奔走すると張り切っている。参加呼びかけのメッセージの中で、「保養プログラムの参加者の方からは、『子どもたちがのびのび遊べて良かった』『土に触れる、何でも口でできる』『親ものんびり、安心と解放を得られてよかった。ぜひ、今回来られなかった方にもこんな時間を作つてあげて欲しい』との声をいただきました。福岡の原発事故の問題はいつ収束するとも知れず、今も目に見えないものの不安や恐怖を抱きながら、不自由な生活を余儀なくされている人たちが多くいます。私たちは『私たちに今出来る事で寄り添い続けたい』と願い活動を行っていきます」とその決意が述べられている。

【四旬節黙想会】指導:中村克徳神父(御受難会)
①日帰り黙想会
日時:3月7日(金)10:00~15:30 費用:4,000円
②一泊黙想会
日時:3月21日(金)13:00~22日(土)昼食まで 費用:9,000円
【聖なる三日間の黙想会】指導:中村克徳神父(御受難会)
日時:4月17日(木)15:00~20日(日)昼食まで

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
〒811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30~16:30)・Fax 0940-32-3385
Eメール f-mokuso@fmokuso.com (アドレスが変更になりました)

ミサ用ワイン

ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 [SOU-EN]

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

福者小笠原玄也一家殉教記念日を偲び

花岡山で「早朝の祈りの集い」



集った。

未だ明けやらぬ暗闇の中に、ライトで照らし出された殉教者の墓前で、司祭は会衆を前に招きの言葉を唱え、続いて、降りしきる雨の中、み言葉が粛々と朗読された。

「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ一粒のままであるが、死ねば多くの実を結ぶ。自分の命を愛するものは、それを失うが、この世で自分の命を憎む人はそれを保って、永遠の命に至る。」(ヨハネ 11・24・26)

このみ言葉は、毎年読まれる個所ではあるが、今年は早朝から雨にうたれ、そのしずくの音を通して聴く参列者には、いつそう新鮮で、殉教者の生き方を心に深く刻み、これを称えるものであった。

最後に、福者15名の殉教者一人ひとりに取次を願う連祷が皆で唱えられ、雨の中の「早朝の祈りの集い」は無事終了した。また、当日午後7時30分より島崎教会聖堂にて、司祭、修道女、信徒が参列し、殉教ミサが捧げられた。

ところで、「早朝の祈りの集い」に集まったある女性の信徒は、「今年は何となく寒い

第二バチカン公会議による教会③

「何を考えているのかよくわからない」と、私はよく言われます。もともと無口だったことにも加えて(信じられないという言葉が聞こえてきそうですが、お酒の席では饒舌、否、むしろうるさいです)、私の優柔不断さ、仕事の雑さで皆さんに迷惑をかけています。何でも緻密に計画をきつと提示できる人や、思いを率直に伝え、人々をその思いに賛同させることができる人がうらやましいです。

ヨハネ二十三世教皇の公会議開催の決定は、教皇就任からわずか三か月後、突然に発表されたものでした。いわゆる根回しなしの決定だったようです。けれども教皇の発表は「天からの輝きのようにただちに列席の面々の心を捉え、喜びが顔面にも目つきにもあらわれたのでした。それと同時に全世界に燃え広がるものがあって、会議開催をすべての人が熱心に待望するようになりまし」と、教皇ご自身が公会議開催演説のなかで言っているように、多くの人々の心を動かし、希望のうちに

雨の中での早朝の集いでしたが、私は殉教者を通して神様からとても大切なものを教えてもらえました。と次のような感想を述べた。「小笠原玄也一家の殉教は家族の殉教であることはこれまででもよく分かっていましたが、皆と一緒に、このようなことがなぜ出来たのか理解出来ずにいたのです。今日、冷たい雨の中

でみ言葉を聴き、殉教者の生き方を心にめぐらしている内に分かりました。それは、家族皆で神を信じてどんな時でもいつも互いに励まし合い、共に助け合うこの心の強い絆があったからだと思います。私たちの小教区の共同体にも、この絆は大切なものではないでしょうか」と。

島崎教会 高木光行

佐賀地区信徒研修会を開催



佐賀地区信徒研修会が1月26日(日)佐賀教会にて開催された。今年は、「ミサ・キリスト者共同体の賛美」というテーマで、深堀純氏(大名町教会信徒)を講師に迎え、各小教区から合わせて100人ほどが集まった。

午前中の講話は、聖歌指導も交えながら、典礼憲章などで示されているミサの構成を詳しく学んだ。参加者は、「主は皆さんとともに」という呼びかけがミサ中何回ありますかと問われ、頭をひねる場面も。「ミサの中で、これから大事なことが行われる時のやりとりです」と示され、あらためてその意味を理解していった。一同は、ミサに五感を使い、意識的に、積極的に与ることの大切さを共に学んだ。『ミサには予習が必要』という講師の教えは心に響いた。これからは早めに『聖書と典礼』に目を通し、聖歌の意味も意識してミサにあずかりたい」と参加者は語っていた。

カトリック教会の枠を超えて受け止められていました。本来ならば思い付きだとか非常識だとか言われそうな手法での公会議開催の決定でしたが、それが多くのの人々に好意的に受け止められたのは、それまでの常とう手段だった教会法や教導職の権威を振りかざして、いわゆる上から目線で決定したものではなく、たとえ教皇の個人的な決定だったにしても、それが、教皇ご自身が「歩く」ことを通して多くのの人々と出会い、彼らの話をよく聴くことによって育まれてきたものだったからです。

だから公会議は多くのの人々にとって喜ばしいものとして受け止められました。単なる「世直し」的な会議ではなかったからです。教皇は開会演説の中で次のように言っています。「私の耳に届いて不愉快に思うことがあります。それは信仰の熱心に燃えていながら公平な判断と賢明な思慮を欠いた人々の声であります。この人々は、人類社会の現状を見ては破壊と災難しか見ることができず、過ぎ去った世紀と比べて現代はただただ悪い方に向かってしまったと繰り返しいいづづけます。(・・・)あたか

午後2時から、地区長の平田敬神父司式で締めくくりにミサがささげられ、一同は学んだことを即実践。普段よりも大きな声で歌い、意識して祈りをささげた。最後に挨拶した平田神父も、「いつも

と違って、ミサにとても元気があり、迫力がありました」と絶賛。「それぞれの小教区に帰ったあと、主任司祭とよく相談しながら、典礼を充実していきたいよう」との講師の挨拶で一日を終えた。

福岡教区のために奉仕したい！

金神学生朗読奉仕者に選任される



(金)には選任直前の黙想会にあずかった。

2月9日(日)、大名町教会での9時30分のミサの中で、金貞根(キム・ジョングン)神学生の朗読奉仕者選任式が宮原良治司教の主司式によって執り行われた。

金神学生は現在、福岡教区からの委託という形で韓国・大田(テジョン)教区内の大神学院で養成を受けている。先月、休暇を利用して福岡に戻り、選任に向けての準備を久留米教会と司教館とで行い、2月7日

とばへの奉仕者としての姿をも私たちに示してくれた。ミサの終わりに金神学生は「福岡教区のために奉仕したい」との意気込みを語った。

主日のミサに与った信徒は、改めて自国を出て奉仕することを表明した彼の意志の強さに触れ、彼がこれからの歩みを支えて下さる神さまに信頼し続けることができるよう、祈り、支えていく決意を新たにしました。

も世の終わりが近づいたかのように、つねに災いしか予告しない不運の預言者に私は絶対賛成できない。つまり、誰の心の中にも自由と刷新への希望があると人々のまごころを信じ、公会議開催という出来事によつてその希望をより確実なものにしようとする全信者の力の結集を計られたのでした。

このことは公会議の準備にもよく表れていました。公会議の主導権を握ろうと、自分たちで議題を決め、会議の責任者になろうとする教皇庁に對抗して、教皇は全世界の司教たちやカトリック教会内外

☆年を重ねるほど知恵を深めるセラピー



「たつた一度しかない高齢期！」年輪が創り作り出す美しさはたとえようがありません。本書は年を重ねるほどに知恵を見いだし、高齢期の意味を発見し、豊かな実りを結ぶためにエルフ(妖精)が気の効いた言葉によってアドバイスしてくれます。

サンパウロ 発行

税込価格 735円
☆気合の入ったキリスト教入門3 イエスと歩め！
来住英俊 著



来住英俊神父渾身の書きおろし、『気合の入ったキリスト教入門』三部作の完結編。「このシリーズは、キリスト教の教えというより、キリスト信者が住んでいる『神』がいる世界」を、信者でない読者に示すことを目指しています。

ドン・ボスコ社 発行
税込価格 735円
☆雪の夜
小林敬三 著



日常の小さな出来事、大小のニュースの中に隠されているよく生きるための示唆。心に響く講話集。
女子パウロ会 発行
税込価格 1260円



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える III

福岡地区聖書講座

年間テーマ：旧約聖書に親しむ
日 時：3月16日（日） 14:00～16:00
講 師：森山信三神父（西新教会）
テーマ：旧約における救いの歴史、地理について
場 所：カトリック大名町教会1階講堂
主 催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書講座

年間テーマ：～イエス・キリストに従って歩む教会～
開かれた共同体へ：「使徒たちの宣教」
第2回 「福音」を知らせる教会
～ペトロを中心に～
日 時：3月30日（日） 14:00～16:30
講 師：深堀勝人神父（湯川教会）
場 所：カトリック小倉教会
主 催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

ボランティア交流会

日 時：3月4日（火）10時～14時30分
場 所：カトリック大名町教会
内 容：講話Ⅰ「栄光病院のボランティアについて」
中島長子氏（栄光病院看護部長）
講話Ⅱ「ボランティアについて」
中村倫明神父（長崎教区三浦町教会主任司祭）
ミサ（中村倫明神父司式）
参 加 費：500円（弁当付き）
申込締切：2月23日（日）
問合せ先：福岡地区女性の会役員か ☎ 090(5940)1344
主 催：福岡地区カトリック女性の会

3.11 東日本大震災3周年
追悼と再生を願う合同祈禱会

日 時：3月9日（日）17時～18時
場 所：日本聖公会福岡聖パウロ教会
福岡市中央区草香江2-9-22
奨励者：鈴木牧人牧師（日本バプテスト連盟）
司式者：武藤謙一主教（日本聖公会九州教区）
共同司式：新堀真之牧師（日本基督教団九州教区）
和田憲明牧師（日本福音ルーテル教会九州教区）
宮原良治司教（カトリック福岡教区）
主 催：東日本大震災3周年福岡合同祈禱会実行委員会

震災のための祈りのリレー

日 時：3月11日（火）6:00ミサ～16:00夕の祈り
場 所：カトリック浦上教会・被爆のマリア小聖堂
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp / Br 阿部光一

子どもたちとともに主日の福音を『こじか』2014年度
毎週日曜日発行（年44週）B5判・16頁（ふりがなつき）
定価65円＋税（送料別）＊15部以上のご注文は55円＋税。
国内年間定期購読（年44週分）1部4100円／2部7400円（税・送料込）

カトリック通信講座 神・発見の手引

神について、人生、自然などの具体例や哲学者の言葉を通して考えます。全15講 受講料4500円

生きること・死ぬこと

現代社会の状況のなかで、「いのち」について考えます。全10講 受講料5000円
お申し込み、お問い合わせ、見本誌請求は下記にどうぞ
オリエンス宗教研究所
〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5
電話：03-3322-7601 / Fax：03-3325-5322
http://www.oriens.or.jp/

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 3月

2月28日(金)～3月2日(日) 相即人間学会セミナー（空室15）
3月
6日(木) 健軍教会巡礼(日帰り)
7日(金) 四旬節日帰り黙想会(募集中)
10日(月) 手取教会巡礼(日帰り)
21日(金)～22日(土) 四旬節一泊黙想会(募集中)
22日(土) 黒崎教会子どもの一日黙想会(日帰り)
24日(月)～27日(木) 九州説教セミナー（空室15）
31日(月)～4月4日(金) オプレート会会議（空室0）
＊利用予定によっては充分余裕がある場合があります。
＊宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 ㊚0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com（アドレスが変更になりました）

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：聖母マリアと共に祈る
・日 時：3月13日(木) 10時～15時
・内 容：神の子イエスをお産みになった時の聖母マリアの祈り
指 導 者：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
☎0968・85・3100 ㊚0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：3月1日、15日、4月5日（土）10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

2日(日) 年間第8主日
玉名教会落成式ミサ
5日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)
6日(木) 常任司教委員会(東京)
7日(金) 初金曜日ミサ(浄水通教会)・サーリスの集い
✠ミカエル平田寛[2002年門司教会]
9日(日) 四旬節第1主日
✠W・カリー[2012年手取教会]
16日(日) 四旬節第2主日
19日(水) 聖ヨセフ
21日(金) 春分の日
23日(日) 四旬節第3主日
二日市教会堅信式
25日(火) 神のお告げ
30日(日) 四旬節第4主日
✠V・チェリッツァ[2005年唐津教会]
31日(月) 教区宗教法人立幼稚園新任教職員辞令交付式・研修会

4月
3日(木) ✠A・アレグリーニ[2006年ロザリオの園]
4日(金) ✠ペトロ黒川博[2002年大牟田教会]
6日(日) 四旬節第5主日
■ゴチックは司教日程

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い
〔日時〕毎週月曜11時〔場所〕大名町教会1階〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい〔問合せ先〕☎092・521・2503 蓮尾
◆第61回典礼聖歌研修会
〔日時〕3月2日(日) 14時〔場所〕カトリック大楠教会〔講師〕深堀純氏〔参加費〕感謝献金〔問合せ先〕☎092・541・3730 松山
◆ホスピスの会第89回勉強会
〔日時〕3月9日(日) 14時〔場所〕カトリック大名町教会4階〔テーマ〕臨床心理から〔講師〕稲津佳世子先生〔精神科医〕〔対象〕どなたでも〔参加費〕一般1000円 会員5000円〔問合せ先〕☎092・791・7532
◆カトリック正義と平和全国集会福岡大会実行委員会
〔日時〕3月9日(日) 14時30分〔場所〕カトリック大名町教会〔問合せ先〕☎093・871・3019
◆虹の会 子どもを亡くした親の会第59回定例会
〔日時〕3月15日(土) 13時30分～16時30分〔場所〕カトリック大名町教会3階〔参加費〕600円(茶菓子代含む)〔対

象〕子どもとの別れを体験した方〔問合せ先〕☎090・1162・6395 柴田
◆在セフランススコ会集会
〔日時〕3月16日(日) 14時〔場所〕高宮フランススコ会修道院在会会集会所〔指導〕エドウィン神父〔問合せ先〕☎092・843・5831 岩崎
◆カルメル在世会集会
〔日時〕3月17日(月) 10時30分〔場所〕福岡女子カルメル会修道院〔内容〕ミサ・講話〔指導〕カルメル会司祭〔問合せ先〕☎095・828・2353 鶴池
◆グレゴリオ聖歌を歌う会
〔日時〕3月18日(火) 11時〔場所〕聖クララ寮〔内容〕スタバト・マリエル〔問合せ先〕☎096・380・5686
◆聖書に集う会
〔日時〕3月20日(木) 18時30分〔場所〕サンパウロ福岡宣教センター3階会議室〔講師〕鈴木信一神父(聖パウロ会〔問合せ先〕☎092・721・2031 聖パウロ修道会
◆ラスキン黙想と祈りの集い
〔日時〕3月28日(金) 20時〔場所〕大名町教会小聖堂〔問合せ先〕☎090・2305・5191 ブラザー阿部
◆美野島司牧センター
あなたの勇気が路上のいのちを支えます！●ホームレスの方には作りのお昼ごはん毎週火曜日10時30分●越冬期ホームレス支援夜回り(スリーブの会協働) 3月7日・14日20時(集合大名町教会) ●路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時〔問合せ先〕☎092・431・1419 M・コリス神父

北九州

◆被災地支援第43回音楽と祈りの夕べ
〔日時〕3月9日(日) 17時
毎月第二日曜日〔場所〕カトリック小倉教会〔内容〕被災地支援の意向で黙祷と祈り。短いメッセージ。オルガンと歌を聴きながら特に東日本大震災被災者へ想いを送る。自由献金あり〔連絡先〕☎093・921・0093 小倉教会事務
◆北九州召命を共に祈る会
〔日時〕3月13日(木) 14時〔場所〕カトリック小倉教会〔内容〕祈りとミレーティング〔指導〕杉原寛信神父(新田原教会)〔連絡先〕☎0949・24・9905 藤井
◆小倉祈りの集い
〔日時〕3月28日(金) 13時30分〔場所〕カトリック小倉教会〔指導〕ガブリエル神父(御受難会)〔連絡先〕☎090・

カトリック正義と平和
全国集会福岡大会

テーマ:いのちを大切にする社会を目指して
一見て、聞いて、知って、働くー
日 程:2014年9月13日(土)～15日(月)
場 所:カトリック大名町教会を中心に
対 象:すべての信者

佐賀

◆佐賀祈りの集い
〔日時〕3月1日(土) 10時・毎月第一土曜日〔場所〕佐賀カトリック会館〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

◆日本カトリック看護協会福岡支部例会
〔日時〕3月9日(日) 13時30分〔場所〕熊本みこころ病院〔問合せ先〕☎096・352・7181 シスター竹内
◆熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕3月20日(木) 11時〔場所〕健軍教会〔問合せ先〕健軍教会 ☎096・368・2825 青木悟神父

編集後記

今年は、冬季オリンピックの開催の年で、日本人選手たちのメダル獲得のうれしいニュースが入ってきます。メダルを期待され、残念ながら獲得できなかった人々の思いは、非常に複雑でしょう。メダルを胸に下げて帰国する選手にも、メダルのない選手にも等しく、大きな拍手を贈りたいと思います。今月号から、百村神父様(パウロ会)に校正をお願いしています。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 コスモス

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター
総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
＊入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院

平日: 9:30～12:00
14:30～20:00
土曜: 9:30～15:00
休診: 日曜・祝祭日
受付時間
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古



聖ヨセフ、
すべてのための両親、
父親・母親のために
取り決めてください。
3月休業日 2、9、16、21、23、30



メディアによる福音宣教のために・・・
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分＊駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930